

ハイフォン市との交流

1. 交流のあゆみ

ハイフォン市と香川県との交流は、県議会が2005年に当時の駐日ベトナム大使館公使であったルー・バン・ケ氏にベトナムとの交流について相談したところ、ルー・バン・ケ氏の出身地であったハイフォン市が香川県と地理的な条件や規模が近いのではとの提案を受け、始まったものである。□

その後、県議会や県との訪問団の相互往来や、ハイフォン市で毎年5月に開催されている火炎樹フェスティバルへの出席、瀬戸内国際芸術祭へのカーチュー（伝統芸能）パフォーマーの招致などを通して、友好交流を深めてきた。

2. 国際協力事業

JICA草の根技術協力事業を活用し、平成19年から21年度まで「行政改革・企業誘致」、平成23年から25年度まで「保健医療人材育成(主に感染症対策)」、平成28年から平成30年度まで「生活習慣病対策」をテーマにした国際協力事業を実施してきた。

そして、現在は新しい技術協力事業として、「ハイフォン市カットバ島における住民参加の海ごみ削減プログラム」の採択を受け、事業開始に向けて準備中である。

- 名称 ハイフォン市カットバ島における住民参加の海ごみ削減プログラム
- 期間 令和6年度事業開始手続完了後～令和9年9月（3年間予定）
- 事業費概算額 59,764千円（全額JICAからの委託）
- 実施主体 香川県（環境管理課、国際課）
ハイフォン市カットハイ県人民委員会 *協力ハイフォン市外務局

➤ 事業の背景と必要性

島の大部分が国立自然公園に指定されているカットバ島は、豊かな自然と生物多様性を併せ持っており、2023年には、ハロン湾-カットバ群島としてユネスコの世界自然遺産に認定された。観光業の発展により市民の生活水準の向上が期待される一方、海岸に漂着する海洋ゴミの増加は、カットバ島の美しい海岸線を損なわせるとともに海洋環境に悪影響を及ぼすため、対策が急がれている。



➤ プロジェクト目標

カットバ島の海ごみの減少に向けた回収及び発生抑制の推進体制の構築
環境管理課職員及び香川県海岸漂着物対策活動推進員（海ごみリーダー）の現地派遣や、カットバ島を管轄するカットハイ県行政職員及び湾管理委員会関係者の招聘による香川県内での研修を実施し、カットバ島の海ごみ対策に関する総合的なビジョンの作成や住民ボランティアによる清掃活動を牽引する人材の育成を行う。これまで地元青年団や女性連合、観光業の従事者による清掃活動が行われてきたが、単なる清掃活動で終わらないためにも、「楽しくて学びのある清掃活動」の企画方法や参加者の行動変容を生み出すためのファシリテーターとしての手法をベトナム側に移転し、海ごみの発生抑制効果のある活動を継続的に行えるような体制を作る。